

別れ、再会、そして...

時代に翻弄された家族の姿



影山光洋撮影

入場無料

平成18年7月29日(土)~8月31日(木)

会場/昭和館3階 特別企画展会場

開館時間/10:00~17:30(入館は17:00まで)

休館日/毎週月曜日(ただし8月14日は開館)

交通のご案内

電車ご利用の場合

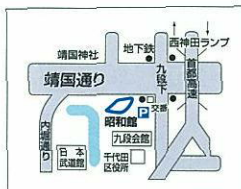
地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線 4番出口)
JR飯田橋駅から徒歩約10分

車ご利用の場合

首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)

■有料駐車場(1時間200円)

普通乗用車専用駐車場(64台)がご利用になれます。



昭和館

〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-1

TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575

ホームページ <http://www.showakan.go.jp>

別れ、再会、そして…

～時代に翻弄された家族の姿～

このたび昭和館では「別れ、再会、そして… ～時代に翻弄された家族の姿～」と題し、「家族」をテーマに戦中・戦後を振り返る特別企画展を開催する運びとなりました。

戦中・戦後の激動の時代は、戦後60年を経た現在の「家族」に、いまだ少なからず影響を及ぼしています。

戦時中、多くの働き盛りの男性は兵士として戦地に赴き、そこには夫や父、兄弟を、涙をこらえて見送る家族の姿がありました。出征した兵士の家族や、兵士の遺族には様々な形で助け合いが行われていました。戦争末期には、全国の都市部を中心に空襲を受け、その被害によって離ればなれになる家族は少なくありませんでした。

戦後、ある者は戦地から無事に帰還し、笑顔での家族の再会が果たされました。しかし、帰ることのなかった戦死者等の家族は、つらい悲しみと共に戦後を迎えました。無事に帰ることを信じて待ち望んでいた家族の元に、戦後しばらくして戦死の公報が届けられることもありました。さらに一家の柱を失った家族には困難な生活が待ち受けていました。

本展では、戦中・戦後のつらい日々を過ごした家族のあり方を振り返り、戦後も引き続く戦争の労苦について、実物資料、写真等で紹介します。



I 戦前・戦時中の家族像

戦前の多様な家族像 戦時体制下の家族像

II 戦前・戦時中の家族の生活

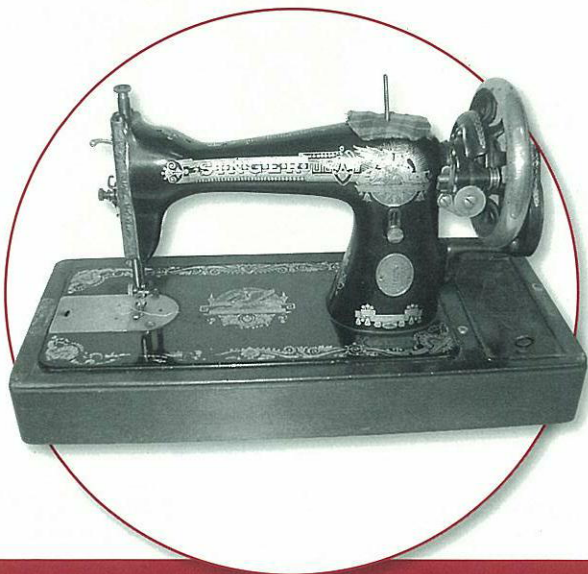
戦時中の助け合い 家族の別れ 出征遺家族の生活 戦死の知らせ

III 戦後の人々の労苦

家族の再会のよろこび 戦後の遺族の暮らし 遺族会の結成

IV 変わりゆく家族像

戦後復興期の家族像 核家族化のはじまり 家族のきずな



イベントご案内

8月5日(土)

11:00~12:00 夏休み工作教室 (要予約)

13:00~15:00 語り部の会 戦没者遺家族等の労苦

8月6日(日)

11:00~15:00 親子で遊ぼう! 昔の遊び、紙芝居 (2階広場)

8月12日(土)

11:00~15:00 親子で遊ぼう! 昔の遊び、紙芝居 (2階広場)

8月13日(日)

11:00~15:00 親子で遊ぼう! 昔の遊び、紙芝居 (2階広場)

■問い合わせ先 昭和館学芸部 03-3222-2577